

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスでこぼこ+

支援プログラム

作成日

8 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		でこぼこを活かしあう社会を創る。									
支援方針		自分のでこ（好き、得意）を活かして他者のぼこ（嫌い、不得意）を助けるといったお互いを補い合う関係性を作る基礎を培う。									
営業時間		8 11	時	30 30	分から	17 20	時	30 30	分まで	送迎実施の有無	送り無し 事業所より概ね15分以内に 限る
支 援 内 容											
本人 支援 5 領域	健康・生活	・日常生活に即した体験・学習を通して、基本的な生活動作の経験を積む。食を楽しむ。 ・セルフケアに関心をもつ、生活環境を自分に適した形に整える。									
	運動・感覚	・自分の感覚特性を理解し、自ら調整に取り組む。									
	認知・行動	・視覚・聴覚・触覚等を活用して想像力・思考力を高める。 ・自分の認知特性を理解し、対策を考え、やってみる。									
	言語 コミュニケーション	・集団の中での自分の行動や意見を考えたり、伝えたりする。他者に関心を持ち、他者の意見や気持ちを聞いたり、受け入れたりする。 ・自分の状況や困りごとなどについて他者に説明でき、適切な相手に適切なタイミングでヘルプを出せる。									
	人間関係 社会性	・様々な価値観や文化に触れ、将来に向けて興味を広げて自分のやりたいことを見つける。 ・他者との対等、尊重、信頼を元にした健康的な関係性を構築する。 ・自己選択/決定を重ねる経験をする（成功も失敗も経験する）。									
家族支援		①児童の発達に関する相談・助言等 ②支援内容に関する相談・助言等 ③家庭生活に関する相談・助言等④集団生活に関する相談・助言等 ⑤きょうだい児に関する相談・助言等 ⑥制度に関する相談・助言等 家族のニーズに応じ、①から⑥などの相談援助を事業所での対面にて実施						移行支援		・関係機関と関わり方についての共有を行い、具体的な支援方法を示していく。 ・就労支援施設との連携を行いながら移行のためのスキルを獲得していく。	
地域支援・地域連携		・関係機関で情報や役割の認識の共有を行い、日常生活や支援に活用するための具体策を検討し提案する。						職員の質の向上		・月に1回の職員研修。 ・同法人、他法人の施設見学による職員交流	
主な行事等		・お泊り会 ・こどもの日のお祝い ・ハロウィン ・クリスマス ・節分 等									